

ひと・まち・魅力発見伝

●袋井市観光案内所 来場者2万人達成!

8月4日、JR袋井駅前にある市観光案内所で、「来場者2万人達成記念セレモニー」が行われました。2万人目の来場者は、千葉県の根古谷真澄さん(写真左から2人目)です。根古谷さんは、職場の同僚の林幸恵さんと一緒に、前日から可睡斎へ1泊2日での禅体験に訪れていました。

2人を出迎えた市長、市観光協会長と一緒にくす玉を割って祝福。市から、クラウンメロンや袋井茶をプレゼントされると「可睡斎からの帰りに、お勧めの食事処を聞きに寄りました。偶然でビックリです」と笑顔で話しました。



記念のくす玉を割った根古谷さんと林さん

市観光案内所は、平成20年4月にオープン。市観光協会と市が連携し、遠州三山やエコパなどの観光名所や季節イベントの情報提供をはじめ、特産品の紹介などを行うなど、来場者に袋井市の魅力を紹介しています。

皆さんも気軽に立ち寄りください。

市観光案内所 ☎43-1006
産業振興課観光振興係 ☎44-3156

ふくろいの仏像

●西楽寺・不動明王(市指定文化財)

今月は、袋井市春岡にある安養山西楽寺の「不動明王立像」をご紹介します。

本像は、平成18年に西楽寺と檀家の皆さんの協力によって修復が行われました。その作業中に明らかとなったことを中心にご紹介します。



像の高さは129cmで、岩をかたどった台座の上に立つています。

青銅で造られていますが、最も特徴的なのは、両腕・両脚が、木彫の仏像のように「ホゾ孔」を造って、接合していることです。胸部も、背中側と腹側で別々に造って接合をしています。小さな部品にすることによって、大きな鑄型をつくる高度な技術を選んだと考えられます。

また、台座の一番下の部分には、江戸時代の宝永7(1710)年に、京都堀川の常味という鑄物師によって造られたことが、はっきりと記されています。

製作の年や、作者がはっきりしていること、青銅製であるにもかかわらず、木彫の仏像のような特徴を示すなど、江戸時代の仏像彫刻の中で、構造が明らかとなった数少ない事例であることから、平成22年に、新市第一号の市指定文化財となりました。

『西楽寺不動明王修復報告書』(2009年)『古美術修理すぎもと・袋井市教育委員会より』

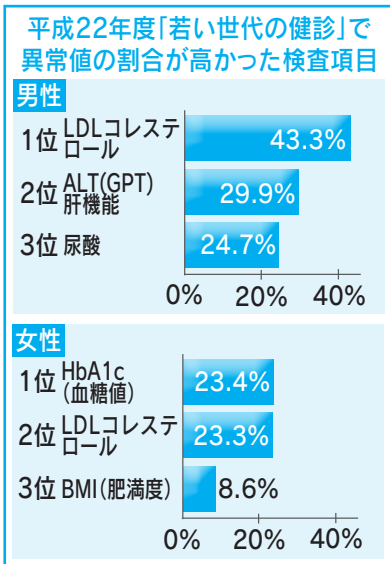
浅羽郷土資料館 ☎23-8511(月曜休館)

健康ガイド

●若いころから、健診を受けましょう

平成22年度は、約900人の方が若い世代の健診(18~39歳の方)を受診しました。

その結果、男性では、LDL(悪玉)コレステロール、女性では血糖値(HbA1c)過去1~2カ月の平均の血糖状態)やLDLコレステロールの数値で異常が見られました。



LDLコレステロールや血糖値は、値が少し高めで、痛みなどの自覚症状は出にくいいため、自覚症状が無いから大丈夫だと思つて、異常値のまま放っておくと、動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす原因となります。

健診で早めに気づき、生活習慣の見直しができれば、病気を予防することができます。

また、健診を継続して受けている方ほど、健康状態が改善しています。健診は、毎年受けましょう。

健康状態を知ることができる健診

- ◆18~39歳の方…市の若い世代の健診(10月末まで市内で実施)
- ◆40~74歳の方…特定健診(加入している医療保険者ごとに実施しています。詳しくは、各医療保険者へお問い合わせください)

健康づくり政策課健康指導1係 ☎42-17275